

認知症バリアフリー情報交換会 実施報告書

2026年1月20日

日本認知症官民協議会

認知症バリアフリーWG 事務局

1. 実施概要

- 認知症バリアフリー情報交換会の実施概要は下記のとおり。

趣旨・目的	認知症は、年齢にかかわらず誰もがなりうるものであり、家族や身近な人が認知症になることなども含め、多くの人にとって身近なものとなっています。この情報交換会では、認知症の人を含めた国民一人一人がその個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら共生する活力ある社会を目指し、認知症バリアフリーに関する取組を自ら宣言して活動を行う認知症バリアフリー宣言企業の取組や、認知症による困りごとをサポートする商品・サービス開発を行う企業の取組み等を紹介し、認知症バリアフリーに取り組む方々同士の情報交換の機会づくりを行います。
日程	2025年11月21日（金） 企業展示：13時00分～14時00分 講演会：14時00分～16時00分 交流会・企業展示：16時10分～17時00分
場所	TKP新橋カンファレンスセンター ホール16C・D 住所：東京都千代田区内幸町1-3-1
開催方式	- 講演会：現地＋オンライン配信のハイブリッド - 交流会・企業展示：現地開催
参加者	- 認知症官民協議会参加団体 - 認知症バリアフリーWG関連企業・団体 - 認知症イノベーションアライアンスWG参加企業 - 認知症バリアフリー宣言企業 - オレンジイノベーション・プロジェクト参画企業 - 自治体 - 厚生労働省 - 経済産業省 他

2. 当日の参加者数

- ・ 企業・団体、自治体、介護事業者・医療機関、当事者団体へ幅広く参加を募った。
- ・ 参加人数は以下のとおり。現地参加者の多くが交流会・企業展示にも参加した。

情報交換会

参加者数（合計）：323名

- 現地会場参加者：118名（登壇者、関係者含む）
- オンライン参加者：205名（事前申込者ベース）

企業以外に、自治体、介護事業者、当事者団体、認知症の人および家族、報道関係者など幅広く参加

交流会・企業展示

出展企業数：16社

3. 当日のプログラムおよび登壇者

- 当日のプログラムおよび登壇者は下記のとおり。

時間	演題等	演者
14:00～14:10	開会挨拶及び厚生労働省における認知症関連施策の動向	・ 厚生労働省 老健局 認知症総合戦略企画官（認知症施策・地域介護推進課地域づくり推進室長兼任） 野村晋 氏
14:10～14:20	経済産業省における認知症関連施策の動向	・ 経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課 企画官 小野聡志 氏
14:20～14:30	認知症バリアフリー企業へのメッセージ ～共生社会実現へのパートナーシップ～	・ 公益社団法人 認知症の人と家族の会 和田誠 氏
14:30～14:45	生活協同組合の取り組み	・ 一般社団法人 全国コープ福祉事業連帯機構 本木時久 氏
14:45～15:00	福井銀行における認知症バリアフリーの取組みについて	・ 株式会社福井銀行 伊藤浩美 氏
15:10～15:25	認知症当事者とともに活動することで理解を深める ～ステップ四日市の取り組み～	・ 四日市市介護予防等拠点施設 ステップ四日市 上田奈央 氏 ・ 四日市市在住 北原浅雄 氏
15:25～15:40	オレンジバージョン・プロジェクトの成果と今後の展望 ～認知症の人の生活を“豊かにする・楽しみをつくる” 介護美容の取り組み～	・ 一般社団法人 日本介護美容セラピスト協会 酒井宗政 氏
休憩 10分		
15:40～16:00	本人メッセージ ～日々の暮らしの中での本人の工夫から いっしょに考えよう～	・ 一般社団法人 日本認知症本人ワーキンググループ 山中しのぶ 氏、藤田和子 氏 ・ かながわオレンジ大使（認知症本人大使）前田博樹 氏
16:00	閉会挨拶	・ 経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課 企画官 小野聡志 氏
休憩 10分		
16:10～17:00	交流会・企業展示	

4. 情報交換会の発表概要

- 各プログラムにおける発表概要は下記のとおり。

演題	発表概要
厚生労働省における認知症関連施策の動向	厚生労働省 野村企画官より、共生社会の実現を推進するための認知症基本法および認知症施策推進基本計画に基づく認知症バリアフリーの取組等の紹介が行われた。
経済産業省における認知症関連施策の動向	経済産業省 小野企画官より、オレンジイノベーション・プロジェクトの取組およびオレンジイノベーション・アワードについての紹介が行われた。
認知症バリアフリー企業へのメッセージ	和田氏（公益社団法人認知症の人と家族の会）より、認知症に対する社会的な認知度や認知症の人を取り巻く現状についての説明と企業へのメッセージをいただいた。
生活協同組合の取り組み	本木氏（一般社団法人全国コープ福祉事業連帯機構）より、生協事業を通じた取組や自治体との連携、認知症バリアフリーの取組の紹介が行われた。
福井銀行における認知症バリアフリーの取組みについて	伊藤氏（株式会社福井銀行）より、企業取組や認知症バリアフリーに関する取組の社内展開について紹介が行われた。
認知症当事者とともに活動することで理解を深める ～ステップ四日市の取り組み～	上田氏（四日市市介護予防等拠点施設 ステップ四日市）、北原氏（認知症当事者）より、ステップ四日市の概要や活動内容、認知症の人の声を起点とした取組およびオレンジイノベーション・プロジェクトにおける活動について紹介が行われた。
オレンジイノベーション・プロジェクトの成果と今後の展望 ～認知症の人の生活を“豊かにする・楽しみをつくる”介護美容の取り組み～	酒井氏（一般社団法人日本介護美容セラピスト協会）より企業取組や、オレンジイノベーション・プロジェクトでの取組について紹介が行われた。
本人メッセージ ～日々の暮らしの中での本人の工夫から いっしょに考えよう～	山中氏、藤田氏（一般社団法人日本認知症本人ワーキンググループ）、前田氏（かながわオレンジ大使（認知症本人大使））より、大切にしている日々の暮らしや工夫の紹介を通じて、企業へのメッセージをいただいた。

※当日の講演資料については官民協議会のウェブサイトで公開

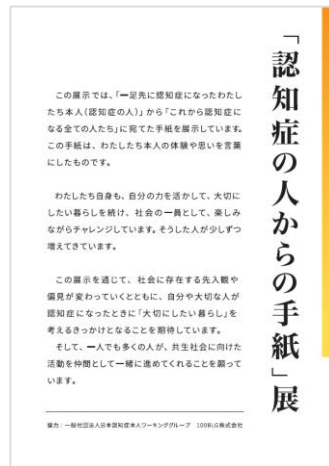
<https://ninchisho-kanmin.or.jp/barrierfree.html>

5. 交流会・企業展示の様子

- ・ 情報交換会終了後、同会場にて交流会を開催した。また、会場後方では新しい認知症観の普及啓発を目的とした展示（写真展・手紙展）を実施した。
- ・ 同会場別ホールにて、認知症バリアフリー宣言企業およびオレンジノベーション・プロジェクト採択企業によるブース展示を行った。

新しい認知症観に関する展示内容

- 新しい認知症観の普及啓発を目的とした展示
 - 「認知症とともに生きるわたし」写真展
認知症の人が尊厳を保持し、希望を持ちながら生活する日々のワンシーンを収めた写真」や「個性と能力を発揮しているシーンを収めた写真」などを展示
 - 「認知症の人からの手紙展」
認知症の人に「これから認知症になる方へ」宛てて書いていただいた手紙を展示



ブース展示

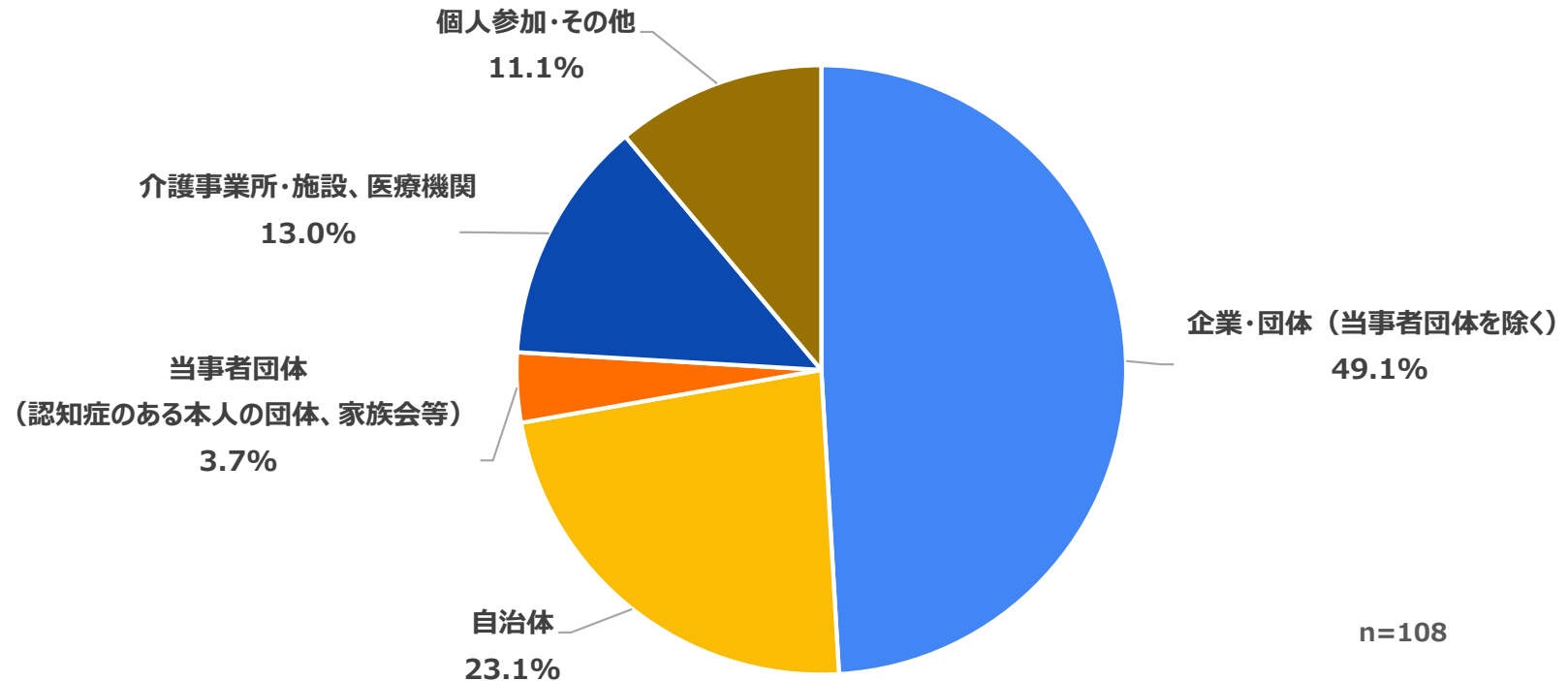
- 認知症バリアフリー宣言企業による取組紹介
- オレンジノベーション・プロジェクト採択企業による製品・サービスの展示



6-1. 事後アンケート調査結果：回答者の属性

- 現地またはオンラインでの情報交換会参加者に対してアンケートを実施し、108件回収した。
- 参加者の49.1%は企業・団体、23.1%は自治体、13.0%が介護事業所や医療機関等であった。

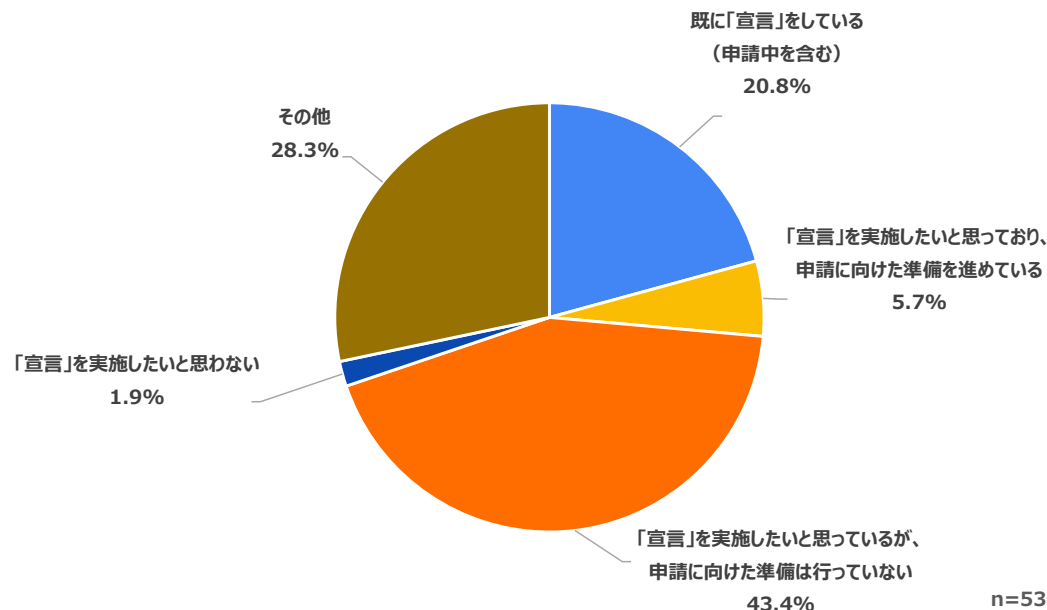
Q あなたのご所属として、あてはまるものを1つ選択してください。



6-2. 事後アンケート調査結果：認知症バリアフリー宣言（企業・団体）

- ・ 認知症バリアフリー宣言の申請を実施したいと考えている企業・団体は49.1%であった。
- ・ 宣言に関心はあるが準備が進んでいない企業については、社内での調整が課題となっているという意見が見られた。

Q 貴社/団体における日本認知症官民協議会「認知症バリアフリー宣言」の実施状況、意向としてあてはまるものを1つ選択してください。



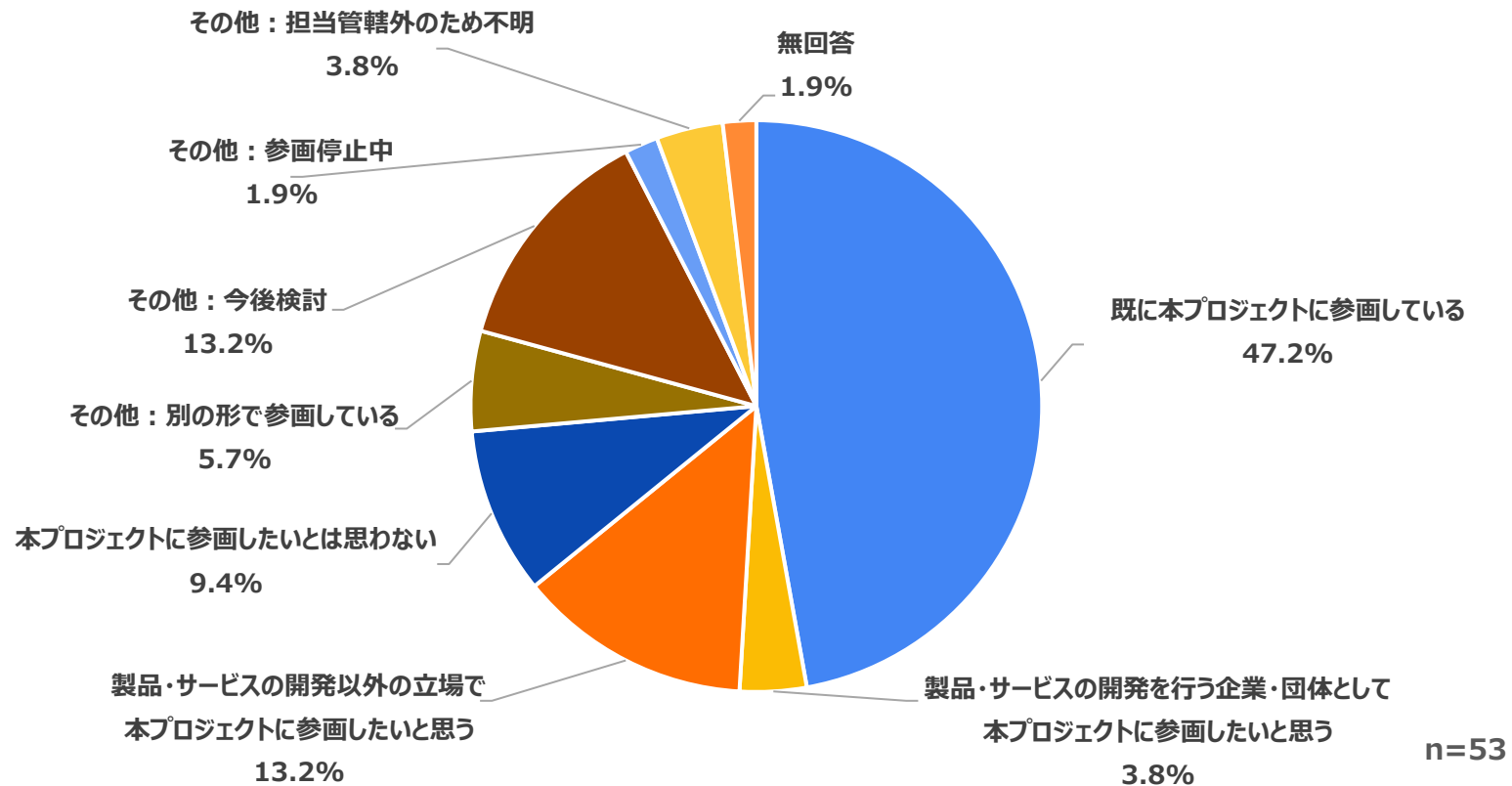
「宣言」を実施したいと思わない理由（自由記述）

- ・ オレンジイノベーション・プロジェクトに参画している
- ・ 検討がまだ十分できていません
- ・ 現場スタッフが少なくなっている中で対応できるかどうか。他に優先課題が多く、社内コンセンサスを取るのが大変な見込み。
- ・ 宣言に対するスタンスが定まっていない
- ・ 弊社事業のなかで宣言を実感できる運営の取り組みがなかなかイメージしづらい

6-3. 事後アンケート調査結果：オレンジノベーション・プロジェクト（企業・団体）

- 参加者の52.9%は既に何らかの形でオレンジノベーション・プロジェクトに参画していた。
- 何らかの形でプロジェクトに参加したいと考えている企業は17.0%、今後検討したい企業は13.2%であった。

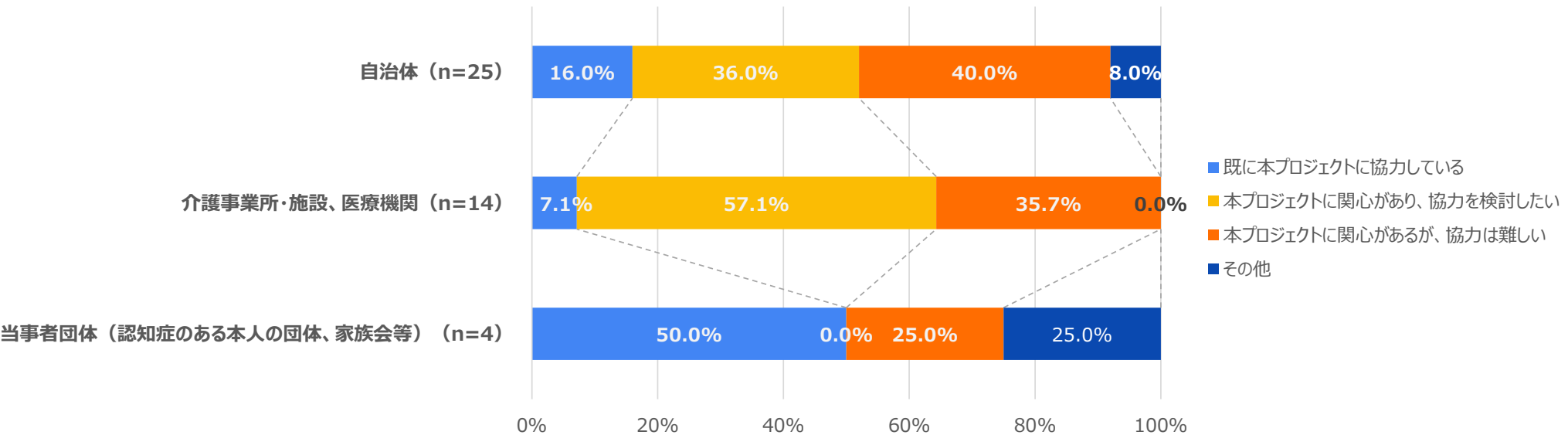
Q 貴社/団体におけるオレンジノベーション・プロジェクトへの参加状況、意向としてあてはまるものを1つ選択してください。



6-4. 事後アンケート調査結果：オレンジノバージョン・プロジェクト（自治体等）

- オレンジノバージョン・プロジェクトへの参画に関心を持っている自治体等は76.6%あったが、関心はあるものの協力が難しいと回答した自治体等もあった。

Q オレンジノバージョン・プロジェクトへの今後のご協力意向としてあてはまるものを1つ選択してください。



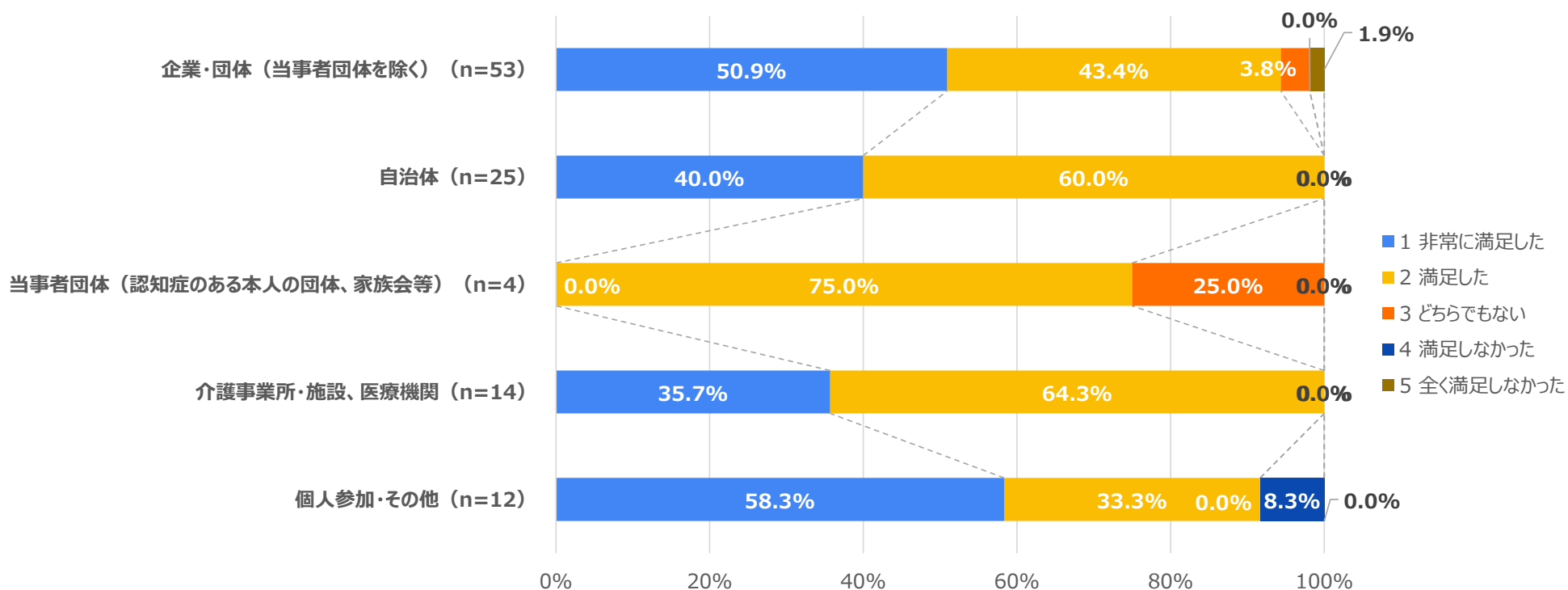
その他（自由記述）

- 情報収集しながら検討中のため未定
- 認知症の人の紹介は難しいが、県民等への周知など、普及啓発への協力はできていると考えている。
- 私のパソコンの音声が出なく前半は聴講できなく、回答できない。

6-5-1. 事後アンケート調査結果：満足度

- いずれの属性においても75%以上の回答者が「非常に満足した」「満足した」と回答した。

Q 本日の情報交換会・交流会の満足度としてあてはまるものを1つ選択してください。



6-5-2. 事後アンケート調査結果：感想（企業・団体）

- ・ 国の方針や他企業の取組内容を知るだけでなく、認知症の人の声を聴き、理解を深めることが出来た等の感想が企業・団体からあがった。

企業・団体からの参加者の感想（自由記述）

認知症当事者・本人の意見・交流

- ・ 認知症の人の意見は貴重と思った。
- ・ 認知症の人の意見や手紙の展示を拝見することができ、とても参考になった。
- ・ 認知症の人が、世間はどう接してほしいのか、今困っていることなどを聞いた点が良かった。
- ・ 認知症の人の話を聞く事で、課題や必要な施策のイメージができた。
- ・ 認知症を取り巻く環境や実情を認識できた。認知症の人や企業の方々との交流が持てて良かった。

情報収集・学び

- ・ 先進的な取り組みについて知ることができた。
- ・ さまざまな取組や商品があることが分かり有意義だった。
- ・ 企業、団体等様々な方のお話が聞けてよかった。
- ・ 最新の情報を得られた。日本生活協同組合連合会、福井銀行の講演が具体的にイメージを持つきっかけとなった。ブース展示もそれぞれ商品紹介、活動紹介等多岐にわたり、オレンジイノベーション・プロジェクトの取組方を知ることができるよい機会となった
- ・ 様々な立場から話を聞けて非常に興味深かった。

取組・活動への前向きな意識

- ・ 取組を聞いて、前向きに取り組みたいと思った。
- ・ 企業の協力が不可欠であることを理解した。

交流・ネットワーク・情報交換

- ・ 既に連携している方と会い、情報交換することができた。
- ・ 自治体や包括支援センター、介護施設の方々から貴重な意見をいただくことができた。
- ・ 認知症バリアフリー宣言企業との連携を希望している事業者と情報交換できてよかった。

展示・会場運営

- ・ ブース展示への出展ができ、参加者にブースに来ていただいて名刺交換がスムーズにできたこと。
- ・ 規模が大きすぎなかった分、ブース展示をゆっくり回れた。
- ・ 資料を当日紙で受け取ることができたため、社内で回覧しやすかった。
- ・ リモート環境があったことがありがたかった。

等

6-5-3. 事後アンケート調査結果：感想（自治体、当事者団体等）

- ・自治体からは、行政や企業の共生社会に対する具体的な取組や最前線の情報を知ることができた、企業との連携事例を学べた等の感想があった。
- ・当事者団体、個人参加者等からは、認知症の人の生の声を聞くことができた等の感想が見られた。

自治体からの参加者の感想（自由記述）

- ・ **多数の企業の方と接点を持つことができて良かった。**講演も非常に参考になった。
- ・ **企業の先進事例を知ることができ、企画の参考になった。**関係者と情報共有し、企業との連携を進めていきたい。
- ・ 具体的な取組発表を聞くことができ、大変勉強になった。
- ・ 「はたらく」事例はいくつか見たことがあるが、「美容」の事例を聞くことができたのは良かった。セルフケアは男性にも効果が期待できるのではないかと思う。
- ・ **先駆的にバリアフリー化に取り組んでいる企業の話を知ることができて参考になったし、認知症の人の声も参加者に伝えることができて良かった**と思う。
- ・ **各企業の取組や認知症の人の気持ちなどを聞くことができ、改めて当事者支援の重要性を再認識した。**インクルーシブな地域にできるように尽力していきたい。
- ・ 今回はオンラインだったが、次回はぜひ会場に行きたい。

等

当事者団体、教育機関、個人参加・その他の参加者の感想（自由記述）

- ・ 実際に**認知症の人の生の声が聞けて貴重な機会となった。**（介護事業所）
- ・ 様々な団体の共生社会の実現に向けた活動を聞くことができて良かった。（当事者団体）
- ・ 既に企業とのコラボは実施しているが、方向性としては間違っていないことを確認できた。（当事者団体）
- ・ 四日市市の取組発表で、**地域のサロン活動にオレンジノベーション・プロジェクトの取組を取り入れたものがあり、参考にした**と感じた。当事者の方のお話もとても参考になった。（介護事業所）
- ・ 認知症バリアフリーが進んでいくように願っている。（介護事業所）

等

6-6-1. 事後アンケート調査結果：今後の要望（講演内容、交流）

- ・ 講演内容については登壇者に関する要望や時間配分に関して、交流については座席配置や交流を促進するための工夫に関しての要望が見られた。講演内容、交流に関する要望は下記のとおり。

講演内容に関する要望（自由記述）

- ・ 認知症の人の意見をもっと聞きたい。（自治体）
- ・ 全国コープ福祉事業連帯機構や福井銀行のように、**地域連携を意識し業務を行っている企業の話をもっと聞きたい。**（介護事業所）
- ・ **家電や建築、交通など生活リアリティのある業者が少ないように感じた。**（教育機関）
- ・ **実践事業者の時間を増やすと、参画を検討している事業者へのPRにもなり、情報交換会の付加価値が高まると思う**（企業）
- ・ 各企業からの報告を受けた上で、参加者で4～5人程度の少人数になってディスカッションし、認知症バリアフリーを広げていくアイデアを募ってもよかった。（企業）

等

交流に関する要望（自由記述）

- ・ 認知症の人と企業が交換会で分離していることが残念だった。（企業）
- ・ **参加団体の区分に応じた席順にしてもらえるともっと交流が図れたと思う。誰がどこにいるのか分からず交流できずに終わってしまった。**（自治体）
- ・ 参加者が多いため、**参加している企業名だけでなく、参加団体の紹介**してもらえると嬉しい。（企業）
- ・ 官公庁の担当者と挨拶する機会があると嬉しかった。（企業）
- ・ 自治体との連携を今後広げていきたいと考えており、次回以降のセミナーなどでは**自治体とコンタクトが取れると嬉しい。**（企業）

等

6-6-1. 事後アンケート調査結果：今後の要望（運営）

- 運営については、会の継続開催や、周知の仕方、オンライン参加者への資料や録画映像の配布等についての要望があった。運営に関する要望（一部抜粋）は下記のとおり。

■ 運営に関する要望（自由記述）

- **このような会を今後も継続してほしい。**（介護事業所）
- **ぜひ次回も参加したい。**（企業）
- **バリアフリー宣言をしていない企業にも、案内ができるとよかった。**（介護事業所）
- 当日資料は開催後にホームページに掲載するとのことだが、**当日に手元でも見られるよう事前に掲載してほしい。**（自治体）
- 会議と重なりすべて視聴できなかったため、**録画の配信があるとありがたい。**（介護事業所）

等